
羽虫の囁き 2

恒

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

羽虫の囁き2

【Nコード】

N1649G

【作者名】

恒

【あらすじ】

不死身の生物兵器（死神）を手に入れた旧植民地の忘れられし皇女、無為は、ただ自分の両親（幸福）を奪った者への復讐のために兵を挙げた。孤独な小皇帝マシエステイの報われぬ戦が始まる。

軍人狩り

死の足音から、元軍人、現在無血縁無財産のホームレスであるところの、元陸軍将校、葛城公道は逃げる。染だらけの茶色の背広と、路地裏の石畳に溜まった雨水を吸い上げびしょびしょになったよれよれのスーツ姿で。路地を抜けた先、干は子供の遊び場、真夜中に神仏不在の闇市と化す公園の中央、GHQの財力によって生まれた噴水の噴水口の真上には、黒い燕尾服を身にまとい、蒼白な顔面、戦時中には在り得ない長さの黒髪を持つ、しかし総統に優れた容姿を持つ執事のような男が立っていた。風も無い静けさのなか微動だにしないため、アメリカのカラー写真のように見える。

「なんなんだよ、あんた」

「ですから、初めに申し上げたでしょう、あなたの名前が死亡者リストに載っているのですよ、返り血をたっぷり浴びた軍服姿の写真と一緒にね」

「うそだ、助けてくれ、私は無実だ！！マツカーサーだって俺を罰さなかつた！！！！」

「事実ですよ、満州・朝鮮地方における、合計百万人規模に上る住民の大量虐殺、インサイダー取引による戦犯容疑の免除、よほど死にたくないのですね、貴方」

「なんてことだ、絞首刑ではなく鬼神による残虐系に処されるとは！！！！」

「私は邪神とはいえ神にございます」

闇の夜、死の夜、雨天の極夜、それは、人より尊く、神より穢けがれた
存在による、正義
(主人)の為の殺戮だった。

軍人狩り（後書き）

まず人間ドラマと情景描写を中心に勉強しているところです。今後ともよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1649g/>

羽虫の囁き 2

2010年10月21日20時33分発行